

歴

史民俗資料館だより

No.35
文化生涯学習課
資料館係 (☎ 58-5111・75-3111 代表)

まかべじん やあと 真壁陣屋跡

発掘調査成果 その二

真壁陣屋跡からは、以前紹介した江戸時代の役所跡以外にも様々な時代のものが出土しました。そのなかで、今回は古墳を紹介いたします。

古墳とは昔の人のお墓の一種で、今回の発掘で見つかったものは直径が14mほどの円形で、円墳と呼ばれるものです。盛り土は削られてしまい、なくなっていました。周囲にめぐらされていた溝が残っていたため、形と大きさが分かりました。

中心部には石のお棺(石棺)が置かれていました。重い石の蓋を人力で慎重に開けると、中には土が入り込んでいて、何が入っているのか分かりませんでした。そこで、竹べらと刷毛を使って丁寧に土をどけること約半日、ようやく中が見えてきました。

土をどけた石棺の中には人骨



出土した古墳の石棺(6世紀半ば)。内部には人骨と刀などが見えます

が1体眠っており、その傍らには鉄の刀1振と、鉄の鏃(矢の先端部のこと)9本が置かれていました。

この古墳からは他にも周囲の溝から多数の埴輪も出土しています。この埴輪の年代などから、古墳が作られたのは6世紀の半ば(今からおよそ1450年前)ごろと分かりました。埋葬された人物は、おそらくそのころの真壁地域にいた有力者と思われる。

歴史文化講座(第2回)

「戦国時代の剣豪の

城を掘る」 塚原ト伝と真壁氏 その1

今回は、桜川市の真壁城跡(国史跡)の研究成果の発表とともに、戦国の剣豪・塚原ト伝の城「塚原館跡」について発掘担当者をお招きして調査成果を発表していただきます。

平成21年度から発掘が開始された塚原館跡(鹿嶋市)は、塚原ト伝の時代の遺構や遺物も出土しており、ト伝が住んだ城と推定されています。

真壁城跡(国史跡)は城主・真壁氏と家臣の桜井氏が塚原ト伝の弟子と伝わる剣豪の城でもあります。中世の真壁氏は城内に鹿島神社を祀り、鹿島神宮の「御船祭」の大使役(常陸平氏一族による祭礼費徴収・執行役)を務めるなど、鹿嶋市と桜川市は、中世からつながりの深い地

域でした。

戦国時代の剣豪がいた2つの城跡を見比べて見ましょう。

■開催日/11月20日(土)

社会体育研修センター

(真壁第一体育館となり)

■時間/13時30分~15時

■内容/鹿嶋市・塚原館跡と真壁城跡の歴史および発掘成果についての解説

■講師/塚原館跡発掘担当者、

文化生涯学習課職員

■参加費/無料

■定員/先着60人

■問合せ・申込先/文化生涯学習課 資料館係 (☎ 58-5111・75-3111、内線3224)



戦国の剣豪・塚原ト伝の城 塚原館跡 (鹿嶋市)

あなたの描く想像を現実により綺麗に より美しく あなたと感動を繋ぐ存在でありたい。

株式会社 デジタル印刷
TEL.0296-54-2626(☎) FAX.0296-54-2724

~お客さまに豊かさと繁栄を~

TKC 古橋伸夫税理士事務所

桜川市真壁町桜井765-2
TEL 0296-54-1540